

本日、国道2号（長府安養寺～勝谷新町）の都市計画素案が、国土交通省中国地方整備局から山口県に提出されました。

このことは、国の検討委員会において、別線2車線の対策案が示された長府トンネル周辺における防災対策の事業化に向けて、大きく前進するものであり、本市といたしましても大変喜ばしく思っております。

これまでの国土交通省をはじめ関係する皆様のご尽力に感謝申し上げます。

国道2号は、瀬戸内の工業地帯と九州都市圏を結ぶ、中国地方と九州地方の物流経済にとって、大変重要な路線であります。

長府トンネル周辺における防災対策の事業化により、慢性的な渋滞や多発する事故の解消及び、災害に強いネットワークの確保や効率的なトンネル老朽化対策の実施につながり、地域経済の活性化や地域住民の安全・安心に寄与するものと期待しております。

今後も引き続き、国や県、関係者の方々と連携し、長府トンネル周辺における防災対策の早期事業化に向けて、取り組んでまいります。

令和7年1月30日

下関市長 前田 晋太郎